

# 02 産業構造の変化

## 1 土地利用の変化

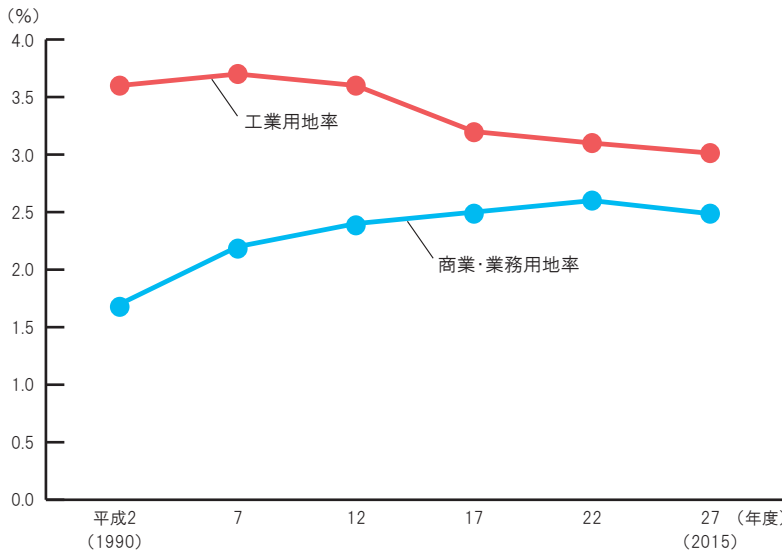
近年、国内の生産コストの上昇や、アジア諸国における生産力の向上などに伴い、製造業の海外進出や生産機能の移転が増加していることから、工業用地が減少しており、商業・業務用地についても減少へ転じています。

市区町村別に工業用地の変化をみると、10%以上増加が4地区に対し、減少は43地区あり、県西

部を除く地域を中心に減少しています。一方、商業・業務用地の変化をみると、10%以上増加が6地区に対し、減少が25地区あり、全地区の約4割が減少傾向を示しています。

工場跡地に、マンションなどが建設され、土地利用の混在による操業環境の悪化などが懸念されています。

### 工業用地率及び商業・業務用地率の推移

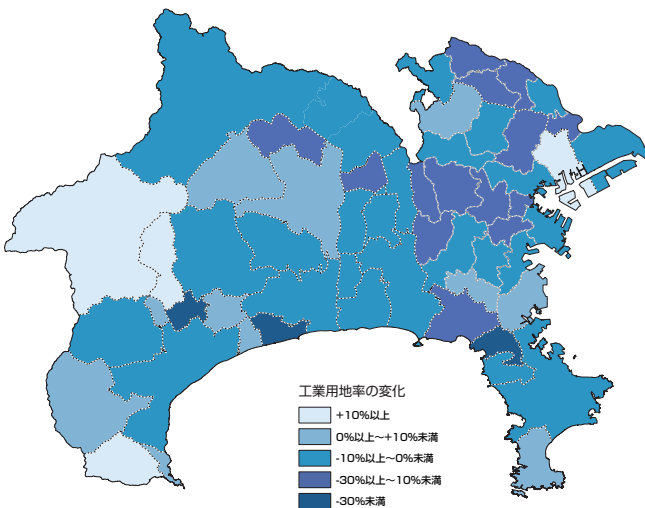


\*1 工業用地率 = (重化学工業用地面積 + 軽工業用地面積) / 総面積 × 100 (%)  
 \*2 商業・業務用地率 = (商業用地面積 + 業務施設用地面積 + 宿泊娯楽施設用地面積) / 総面積 × 100 (%)

神奈川県都市計画基礎調査解析報告書 令和2年3月 (神奈川県 都市計画課) より

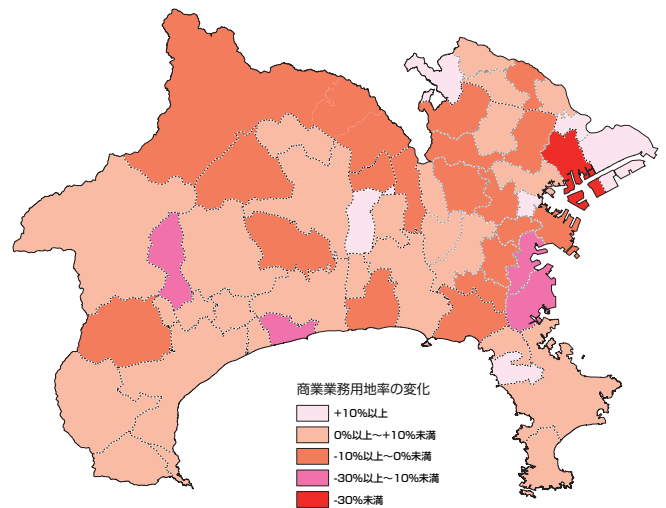
### 工業用地率の変化

2010(平成22)年度～2015(平成27)年度



### 商業・業務用地率の変化

2010(平成22)年度～2015(平成27)年度



神奈川県都市計画基礎調査解析報告書 令和2年3月 (神奈川県 都市計画課) より

## 2 農地・森林の減少

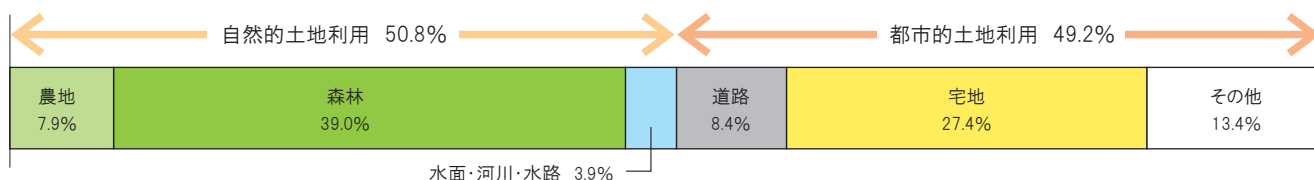
横浜・川崎などの大都市のイメージが強い神奈川県ですが、土地利用の割合をみると全県域の7.9%が農地、39.0%が森林で、県土の約半分が自然的土地利用となっています。農地や森林は緑やオープンスペースを提供してくれる貴重な資源であり、水源の保全や防災面でも重要です。

この農地を支える担い手についてみると、農業従事者の高齢化が進んでおり、男女とも65歳以上の

従事者が約6割を占めています。後継者不足などによる農業従事者の減少は、今後、耕作放棄地の増加につながる可能性もっています。

農地面積は、昭和40年代には都市化により急激に減少しましたが最近はややゆるやかな減少傾向で推移しています。まとまりのある農地、森林を保全していくことが重要です。

### 県土の半分は「自然的土地利用」

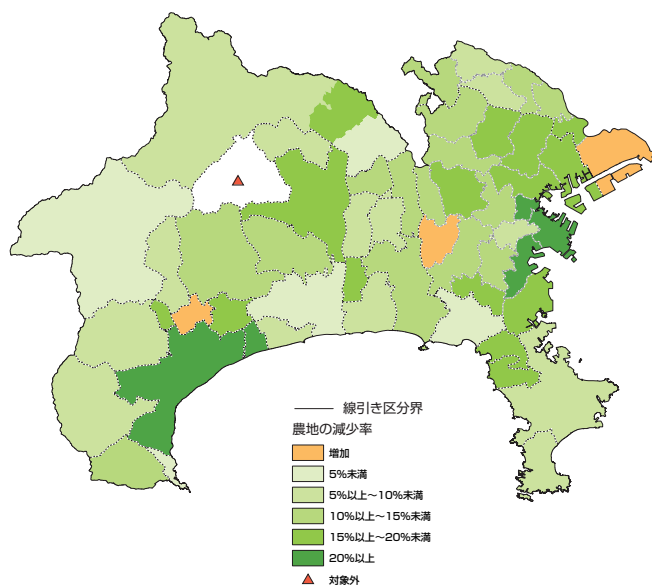


神奈川県都市整備統計年報2019（神奈川県 都市計画課）より

### 農地と森林の現況

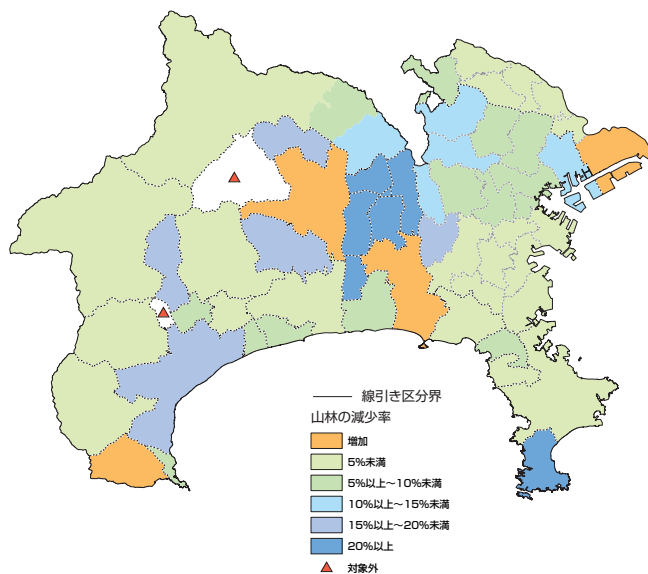
#### 農地の減少率

2010(平成22)年～2015(平成27)年  
(市街化区域および非線引き都市の  
用途地域指定区域内)



#### 山林の減少率

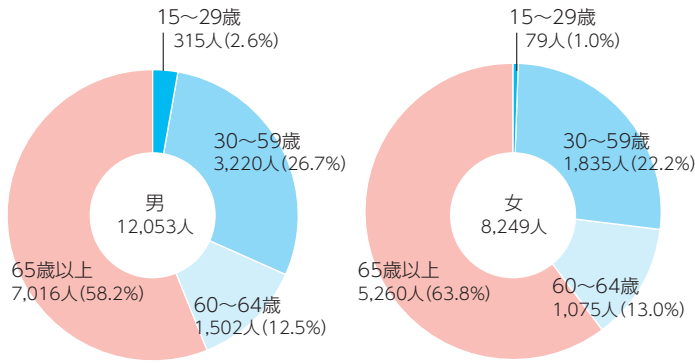
2010(平成22)年～2015(平成27)年  
(市街化区域および非線引き都市の  
用途地域指定区域内)



神奈川県都市計画基礎調査解析報告書 令和2年3月（神奈川県 都市計画課）より

## 農業従事者の半数が高齢者

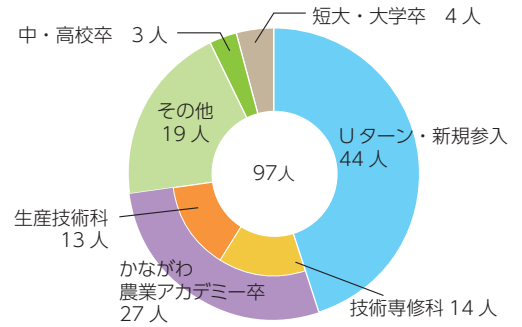
基幹的農業従事者2015(平成27)年  
(農業就業人口のうち農業を主な仕事としている人)



わたしたちの暮らしと神奈川の農林水産業(令和2年度版)(環境農政局 総務室)より

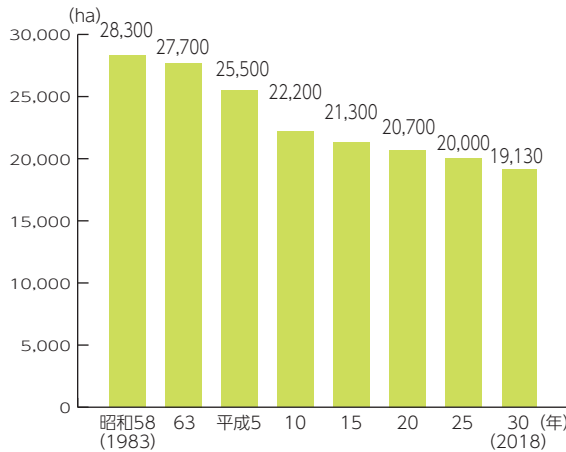
## 新規就農者

経歴別・経営部門別  
新規就農者 2019(平成31)年4月1日調査  
調査対象:調査日以前1年間(H30.4.2~H31.4.1)  
の40才未満の就農者



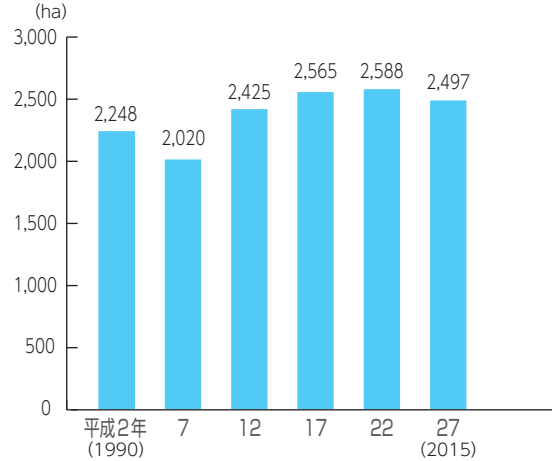
わたしたちの暮らしと神奈川の農林水産業 令和2年度版(神奈川県 環境農政局 総務室)より

## 耕地面積の推移



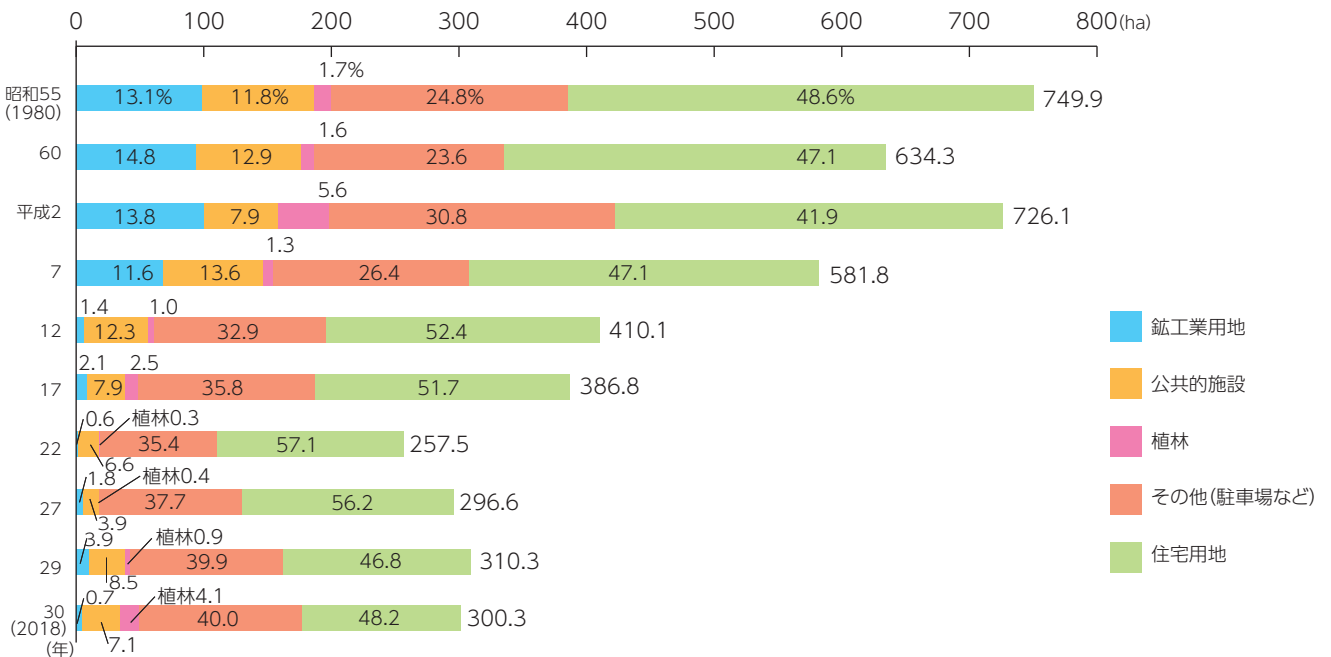
県勢要覧2019(令和元年度版)(統計センター)より

## 耕作放棄地の推移



農林業センサス(農林水産省)より

## 目的別農地転用面積の推移



わたしたちの暮らしと神奈川の農林水産業 令和2年度版(神奈川県 環境農政局 総務室)より

### 3 国内外からの観光入込客の来訪促進

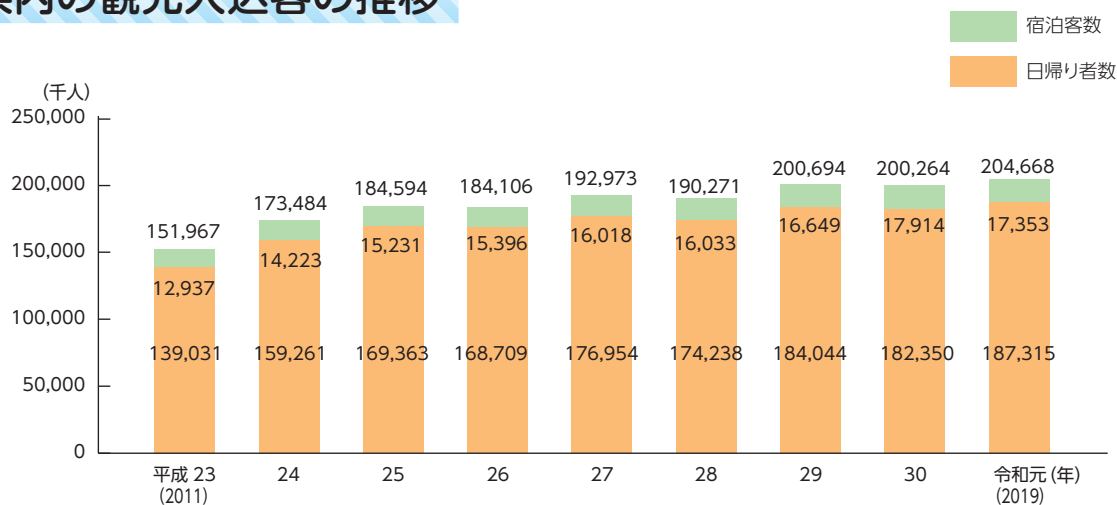
リーマンショック後の2011（平成23）年以降、観光入込客は増加傾向にありました。また県内を訪れる外国人観光客の増加、観光ニーズの多様化が進んでいました。しかし、新型コロナの影響に伴い、外国人旅行者は全国的に激減しています。

神奈川は、首都圏に位置し、都市化が進んでいる一方で、森・川・海が連なる豊かな自然環境にも恵まれており、それぞれの地域に魅力ある資源やライフスタイルがあります。また、県内には、国際的な観光地で

ある横浜・鎌倉・箱根をはじめ、県内各地に、眺望のよい海岸線や温泉地の街並みなどの景観や、寺社・仏閣などの歴史的建造物、文化や花など多様な資源があります。

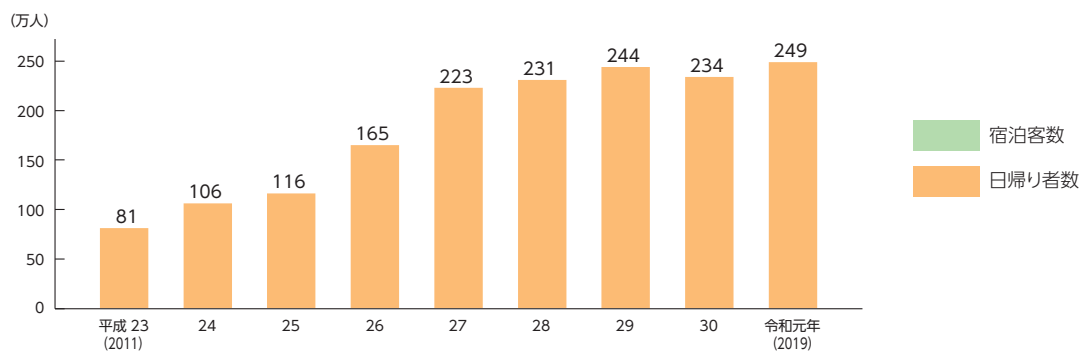
今後は、国内外の観光客の県内への来訪を促進し、観光消費額の一層の増加につながる取組みを推進し、持続可能で発展的な観光振興を進める必要があります。

#### 県内の観光入込客の推移



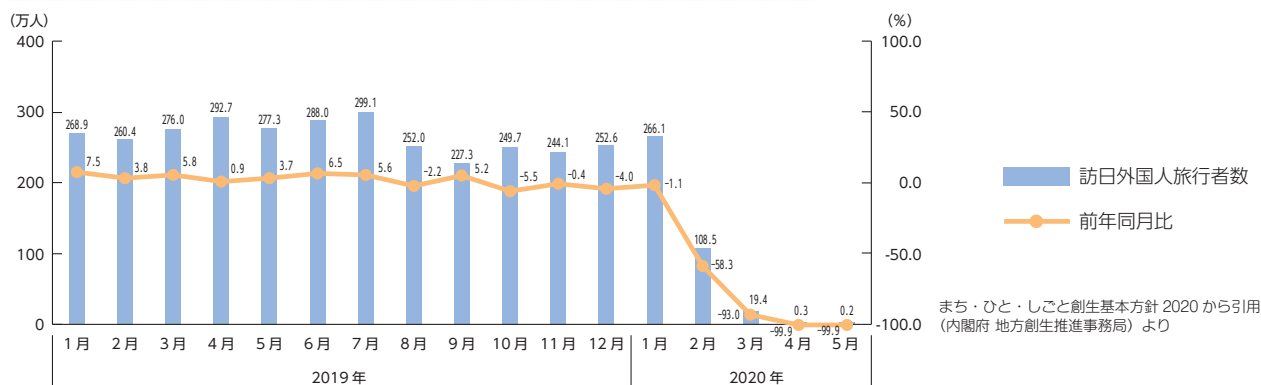
神奈川県への訪問者数の推移（推計値）（神奈川県 観光企画課）より

#### 県内への外国人旅行者の訪問数の推移



神奈川県への訪問者数の推移（推計値）（神奈川県 観光企画課）より

#### 2019年以降の訪日外国人旅行者数(全国)



まち・ひと・しごと創生基本方針2020から引用（内閣府 地方創生推進事務局）より